

日本美術を解剖！ 節句—しつらいと装い—

- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成29年11月15日(水)
～平成30年1月21日(日)
- 休館日 12月4日(月)、5日(火)、18日(月)、
19日(火)、12月28日(木)
～平成30年1月4日(日)

日本美術を楽しむための鍵を探す「日本美術を解剖！」シリーズの第三弾。今回のテーマは「節句」です。

三月のひな祭りや五月の端午の節句など、現在でも私たちの暮らしの中でなじみのある「節句(供)」ですが、古くは、年間の節目となる日に、供え物をして神々や祖先の霊を祀ったことに始まるそうです。やがて季節の変わり目に、特別な食物を用意してお祝いする行事として定着しました。季節の変化を敏感に感じ取って暮らしてきた日本人の感性が、強く反映された風習と言えるでしょう。

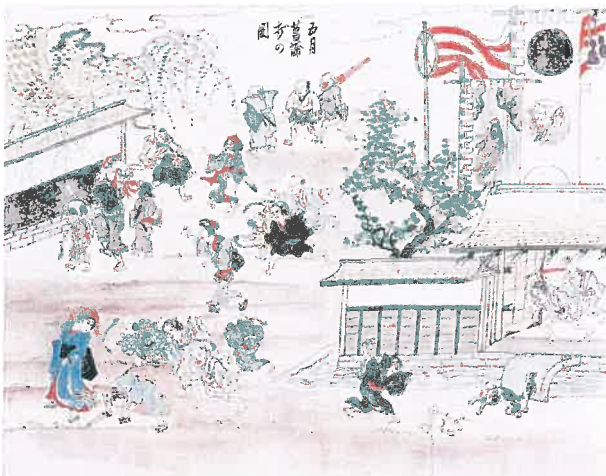
●節句と年中行事 ～福井藩十二ヶ月年中行事絵巻～

「福井藩十二ヶ月年中行事絵巻」には、福井藩で行われていた年中行事や風物詩の一場面が、月ごとに描かれています。

正月十四日には、^{うまおど}馬威しという行事がありました。馬に乗った武士の行く手を、庶民が太鼓や鳴り物を響かせて馬を威し、妨害するというものです。武士と庶民が一体となって行われる勇壮で賑やかな行事でした。



正月馬威しの図 (福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)



五月菖蒲打の図 (福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)

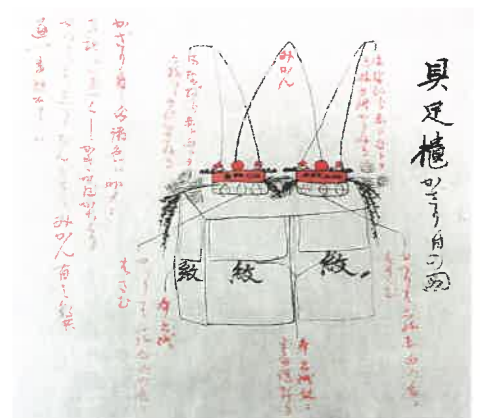
五月の端午の節句には、^{しょうぶうち}菖蒲打の図が描かれています。縄のようなものを持った子どもが女性の後を追いかけ、近くの男性はその様子を見て笑っています。菖蒲の葉を束ねて結び固めて、女性の尻を打って戯れるという風習で、福井藩だけでなく各地で行われていたようです。

これらの行事は、現在では、すっかり見ることができなくなってしまいました。当時の様子を知る貴重な記録です。

●しつらいと装い

節句を祝う行事では、室内外の飾りや装いなどに細かな決まりがあったと考えられます。しかし、それらが記録として残されることは稀なことです。福井藩の場合も、藩の公式な記録としては見当たりません。

幕末の福井藩士松原義成によって書かれた「^{ねんじゅうしよじこころおぼえひかえ}年中諸事心覚控」は、松原家で行われていた節句を始めとする年中行事の記録で、当日の献立や飾り付けの様子が記されています。末永く子孫に伝えるために書かれました。



具足櫃かざり付の図 (個人蔵)



「^{ときわのふること}常盤廻古言」は、幕末の福井藩の江戸屋敷で行われていた年中行事の記録で、大奥に仕えた芳野管子によって書かれました。三月の上巳の節句では、現在と同様にひな飾りがなされていました。また女性たちは皆一同に赤色の装いをすると記されています。さぞかし華やいだものだったことでしょう。

紅縮緬地桜花車模様女兒振袖（個人蔵）

| | | | | | |
|----|---------------------|-------|-----------|------------|-------------------|
| 1 | 福井藩十二月年中行事絵巻 | 1巻 | 春嶽公記念文庫 | 江戸時代（19世紀） | |
| 2 | 爆竹調馬の図 | 1巻 | 越葵文庫 当館保管 | 江戸時代（19世紀） | |
| 3 | 元旦若水用手拭 | 2枚 | 春嶽公記念文庫 | 明治初期（19世紀） | |
| 4 | 新年歌初めの和歌・漢詩筆の書 | 松平春嶽筆 | 1枚 | 春嶽公記念文庫 | 江戸時代（19世紀） |
| 5 | 紋付羽織 | 1領 | 個人蔵 | 江戸時代（19世紀） | 松平春嶽より拝領 |
| 6 | 上巳節句飾 | 一式 | 当館 | 江戸時代（19世紀） | |
| 7 | 紅綸子地春秋花車模様振袖 | 1領 | 当館 | 江戸時代（19世紀） | 松平春嶽正室勇姫所用 |
| 8 | 紅縮緬地桜花車模様女兒振袖 | 1領 | 個人蔵 | 江戸時代（19世紀） | 松平春嶽女安姫所用 |
| 9 | 浅葱地葵紋付輪違小紋男児麻半上下 | 一具 | 越葵文庫 当館保管 | 江戸時代（19世紀） | |
| 10 | 男児黒葵紋付羽織・袴 | 一具 | 越葵文庫 当館保管 | 江戸時代（19世紀） | |
| 11 | 端午節句飾 | 一式 | 春嶽公記念文庫 | 大正時代（20世紀） | 大正4年（1915）使用 |
| 12 | 金梨子地和歌浦蒔絵文台 | 1基 | 春嶽公記念文庫 | | 昭和天皇皇后両陛下より松平慶民拝領 |
| 13 | 金梨子地和歌浦蒔絵硯箱 | 1箱 | 春嶽公記念文庫 | | 昭和天皇皇后両陛下より松平慶民拝領 |
| 14 | 山水群鶴模様蒔絵御料紙箱 | 1点 | 春嶽公記念文庫 | | 昭和天皇皇后両陛下より松平慶民拝領 |
| 15 | 白絹縮地藤桜牡丹紗綾形模様単衣 | 1領 | 春嶽公記念文庫 | 江戸時代（19世紀） | 松平春嶽正室勇姫所用 |
| 16 | 黒紅練緯地松竹梅亀甲七宝花菱鶴模様腰巻 | 1領 | 春嶽公記念文庫 | 江戸時代（19世紀） | 松平春嶽正室勇姫所用 |
| 17 | 菊模様蒔絵手文庫 | 1合 | 春嶽公記念文庫 | | |
| 18 | 書画帖 | 浅野梅堂他 | 1帖 | 春嶽公記念文庫 | 明治2年（1869）序 |
| 19 | 「御手鑑」色紙折本 | 松平吉邦筆 | 1帖 | 越葵文庫 当館保管 | 江戸時代（18世紀） |
| 20 | 葵紋散銚子 葵紋付盃付属 | | 1点 | 個人蔵 | 江戸時代（19世紀） |
| 21 | 家譜 慶永 | | 1綴 | 越葵文庫 当館保管 | 明治時代（19～20世紀） |
| 22 | 常盤廻古言 | 芳野管子筆 | 1冊 | 春嶽公記念文庫 | 明治44年（1911） |
| 23 | 年中諸事心覚控 | 松原義成筆 | 1冊 | 個人蔵 | 嘉永6年（1853） |
| 24 | 帯留各種 | | 24点 | 春嶽公記念文庫 | 松平春嶽正室勇姫所用 |

※資料保存のため、一部、展示替えを行ないます。

【関連イベント】

ギャラリートーク

(担当学芸員による展示解説)

11月18日(土)、12月10日(日)、1月7日(日)
※午後2時より30分

今回の企画展

<企画展>

「ことばを描く

—文学と美術の楽しい関係—

平成30年1月24日(水)～3月21日(水・祝)

松平家史料展示室 展示解説シート No.110

平成29年11月15日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 佐々木佳美

印刷 宮本印刷